

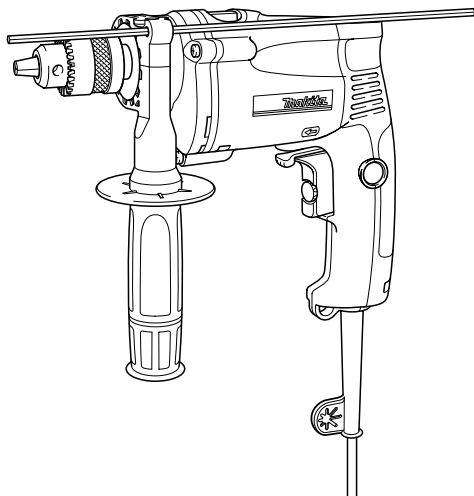
# Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 10mm 震動ドリル

 モデル **HP1040**  
(無段変速・正逆転両用)



二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地[アース]しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびは **10mm 震動ドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 主要機能

| 主要機能      | モデル                                 | HP1040 |
|-----------|-------------------------------------|--------|
| 電動機       | 直巻整流子電動機                            |        |
| 電圧        | 単相交流 100V                           |        |
| 電流        | 3.8A                                |        |
| 周波数       | 50-60Hz                             |        |
| 消費電力      | 360W                                |        |
| 回転数       | 0 ~ 2,900min <sup>-1</sup> (回転 / 分) |        |
| 打撃数       | 0 ~ 31,900min <sup>-1</sup> (回 / 分) |        |
| 最大穴あけ能力   | コンクリート                              | 10mm   |
|           | 鉄工                                  | 10mm   |
|           | 木工                                  | 15mm   |
| ドリルチャック能力 | 1.5 ~ 10mm                          |        |
| 機体寸法      | 長さ 239mm × 幅 67mm × 高さ 190mm        |        |
| 質量        | 1.4kg                               |        |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPA001-2

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

## ⚠ 警告

### 10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

### 11. 防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

### 12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

### 13. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

### 14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

### 15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

### 16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ 使用しない、または、修理する場合。
- ・ 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

### 17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

### 18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

### 19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## ⚠ 警告

### 20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

### 21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

### 22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

### 23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

# 震動ドリル安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、震動ドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB002-1

## ⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落したり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するとき、防じん対策をしてください。

## ⚠ 注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 作業直後のビットや切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
  - ・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。
7. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
  - ・ 飛散して、けがの恐れがあります。

## 注

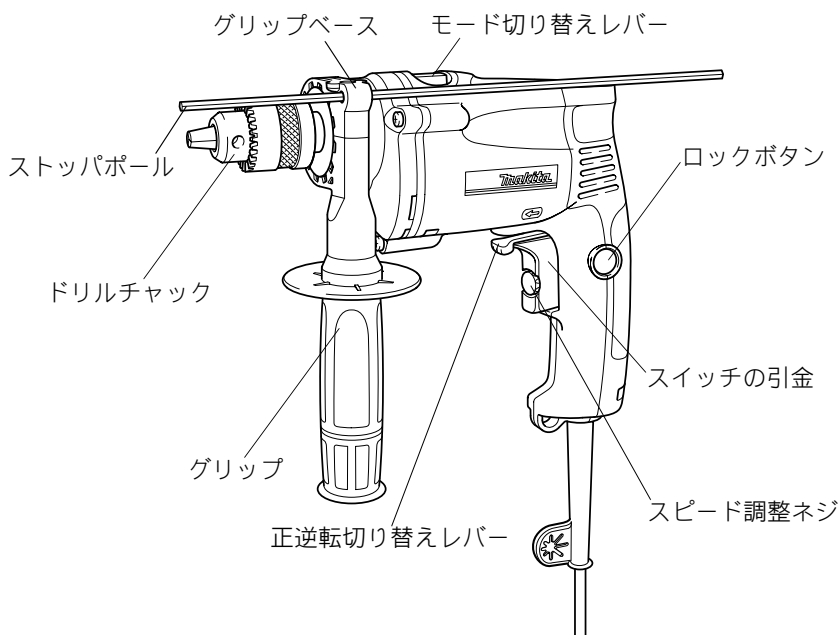
- ・ 震動ドリル専用の純正工具をご使用ください。
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

| コードの太さ<br>(導体公称断面積) | コードの最大長さ | 銘板記載の定格電流値 |         |          |
|---------------------|----------|------------|---------|----------|
|                     |          | ～ 5A       | 5 ～ 10A | 10 ～ 15A |
| 0.75mm <sup>2</sup> |          | 20m        | —       | —        |
| 1.25mm <sup>2</sup> |          | 30m        | 15m     | 10m      |
| 2.00mm <sup>2</sup> |          | 50m        | 30m     | 20m      |

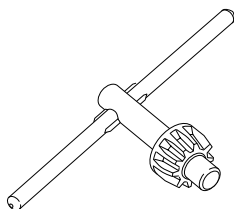
- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

## 各部の名称および標準付属品



### 標準付属品

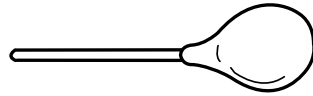
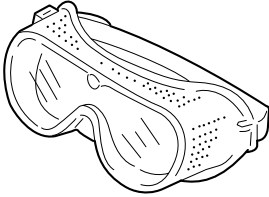
- ・ チャックキー S10
- ・ プラスチックケース





## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。
- ・ セーフティゴーグル（保護メガネ）  
部品番号：191686-2
- ・ スポイド  
部品番号：765009-6



# 使い方

## グリップの取り付け方

### ⚠ 警告

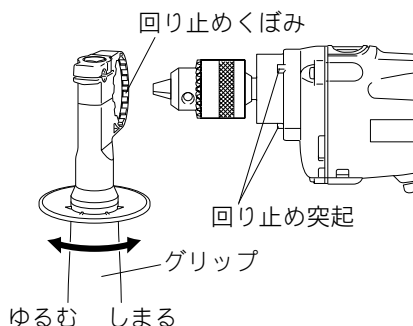
グリップの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

グリップは必ず取り付け、本機を両手で確実に保持して作業してください。

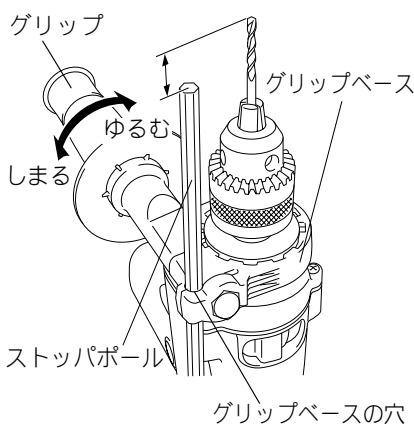
- ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

- ・ グリップは右図のように本機の回り止め突起とグリップの回り止めくぼみがかみ合うようにして、しっかり締めつけてご使用ください。
- ・ グリップは 360 度回すことができます。グリップをゆるめ、回り止め突起がはずれるところまでグリップを動かし、作業しやすい位置に回転させ再び回り止め突起がかみ合うように固定し、グリップをしめてご使用ください。
- ・ なお、ストッパポールを使用しますと本機とストッパポールが当たってグリップが回らない位置もあります。



## ストッパポールの使い方

- ・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。
- ・ ストッパポールはグリップをゆるめグリップベースの穴に差し込んでお望みの長さに調節してください。調節後はグリップをしっかり締めつけて固定してください。



# 使い方

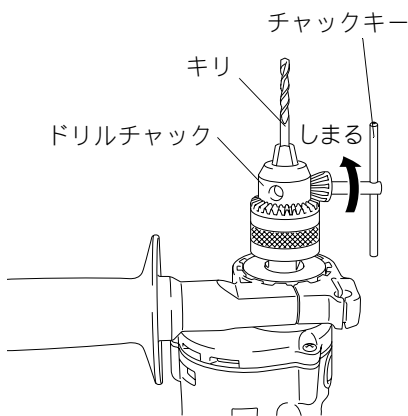
## キリの取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

キリや付属品等の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源より抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ ドリルチャックの3カ所の穴のうち1カ所の穴にチャックキーを差し込み、左へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。キリを差し込み、チャックキーを図のように右方向に回して締め付けてください。  
この際、1カ所だけをチャックキーで締め付けず、3カ所を均等に締め付けてください。



- ・ 取りはずす場合は、ドリルチャックの穴にチャックキーを差し込み、左へ回してゆるめ、キリを抜き取ってください。

# 使い方

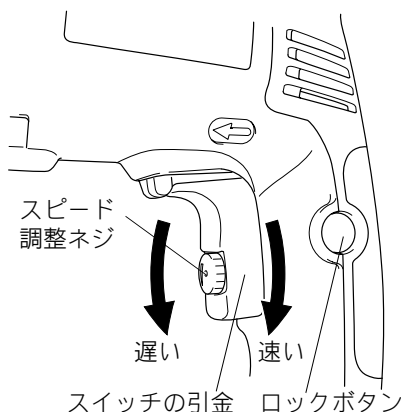
## スイッチの操作

### ⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金の引き加減によりお望みの回転数が得られます。スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

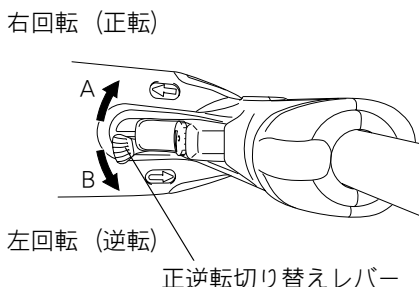


## スピード調整ネジの操作

- ・ スイッチの引金をいっぱいひいたときの回転数を変えたい場合は、スピード調整ネジを回してください。スピード調整ネジは右に回すと速くなり、左に回すと遅くなります。

## 正逆転切り替えレバーの操作

- ・ 正逆転切り替えレバーを<側 (A 側) にすると右回転 (正転) し、>側 (B 側) にすると左回転 (逆転) します。



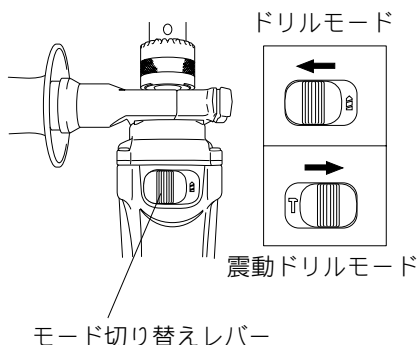
### 注

- ・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。

# 使い方

## モード切り替えレバーの操作

- ・ 本機は、ワンタッチでドリルモードと震動ドリルモードの切り替えができるモード切り替えレバーがついています。
- ・ 「回転のみ」(ドリルモード)で使用されるときは、切り替えレバーを左へずらしてください(Ⓜマークを表示)。
- ・ 「回転+打撃」(震動ドリルモード)で使用されるときは、切り替えレバーを右へずらしてください。(Tマークを表示)



## 注

- ・ モード切り替えレバーは確実にシフトしてください。中間の位置で使用されますと故障の原因となります。

# 使い方

## 穴あけ方法

### ⚠ 警告

穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本機に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

- ・ けがの原因になります。

キリを逆転させて抜くときは本機が振り回される恐れがありますので本機をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

- ・ 確実に保持していないと、けがの原因となります。

## 震動ドリルとして使用する場合

- ・ コンクリートやタイルなどの石材に穴あけされる場合は、本機上面のモード切り替えレバーを右へずらしてください（ マークを表示）。  
なお、ドリルは超硬ドリルを使用してください。
- ・ 深い穴で粉塵がつまる時は、超硬ドリルを回転しながら2～3回、穴より出し入れさせて、粉塵を排出してください。

## ドリルとして使用する場合

- ・ 金属や木材に穴あけされる場合は、本機上面のモード切り替えレバーを左へずらしてください。（ マークを表示）
- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミをつくり、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。穴あけ時には、キリに油（マシン油など）をつけて作業してください。

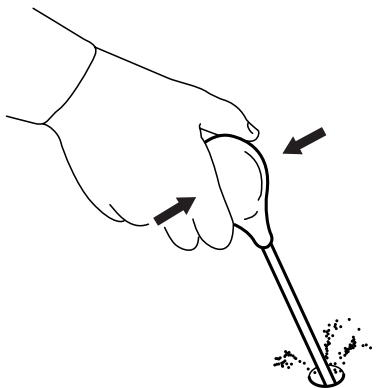
### 注

- ・ 本機を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、本機の寿命も短くなります。

## 別販売品の使い方

### スポイドの使い方

- ・ コンクリートなどに穴あけ後、穴の中に残った粉じんを取り除くときに使用します。



## 保守・点検について

### ⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申し付けください。

# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名     | 電話番号             | 事業所名    | 電話番号             | 事業所名     | 電話番号             |
|----------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店     | (011) (783) 8141 | 足立営業所   | (03) (3899) 5855 | 東大阪営業所   | (06) (6746) 7531 |
| 札幌営業所    | (011) (783) 8141 | 大田営業所   | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 旭川営業所    | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所  | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所   | (0725) (46) 6611 |
| 釧路営業所    | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所   | (042) (384) 8411 | 奈良営業所    | (0742) (61) 6484 |
| 函館営業所    | (0138) (49) 9273 | 立川営業所   | (042) (542) 1201 | 橿原営業所    | (0744) (22) 2061 |
| 苫小牧営業所   | (0144) (68) 2100 | 横浜支店    | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所   | (073) (471) 4585 |
| 帯広営業所    | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所   | (045) (472) 4711 | 田辺営業所    | (0739) (25) 1027 |
| 北見営業所    | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所   | (044) (811) 6167 | 沖縄営業所    | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店     | (022) (284) 3201 | 平塚営業所   | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店     | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所    | (022) (284) 3201 | 相模原営業所  | (042) (757) 2501 | 三木営業所    | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所    | (0229) (24) 0698 | 湘南営業所   | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所    | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所    | (017) (764) 4466 | 静岡支店    | (054) (281) 1555 | 神戸営業所    | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所    | (0178) (43) 3321 | 静岡営業所   | (054) (281) 1555 | 姫路営業所    | (0792) (81) 0204 |
| 盛岡営業所    | (019) (635) 6221 | 沼津営業所   | (055) (923) 7811 | 広島支店     | (082) (293) 2231 |
| 水沢営業所    | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所   | (053) (464) 3016 | 広島営業所    | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所    | (024) (932) 0218 | 甲府営業所   | (055) (276) 7212 | 福山営業所    | (084) (923) 0960 |
| いわき営業所   | (0246) (23) 6061 | 金沢支店    | (076) (249) 5701 | 三原営業所    | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店     | (025) (247) 5356 | 金沢営業所   | (076) (249) 5701 | 岡山営業所    | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所    | (025) (247) 5356 | 七尾営業所   | (0767) (52) 3533 | 宇都宮営業所   | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所    | (0258) (30) 5530 | 富山営業所   | (076) (451) 6260 | 徳山営業所    | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所    | (023) (643) 5225 | 高岡営業所   | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所    | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所    | (0234) (26) 3551 | 福井営業所   | (0776) (35) 1911 | 松江営業所    | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所    | (018) (863) 5205 | 岐阜支店    | (058) (274) 1315 | 高松支店     | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮支店    | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所   | (058) (274) 1315 | 高松営業所    | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮営業所   | (028) (634) 5295 | 多治見営業所  | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所    | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所    | (0285) (25) 5559 | 松本営業所   | (0263) (25) 4696 | 松山営業所    | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所    | (029) (248) 2033 | 長野営業所   | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所   | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所    | (029) (821) 6086 | 上田営業所   | (0268) (22) 6362 | 高知営業所    | (088) (884) 7811 |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 飯田営業所   | (0265) (24) 1636 | 福岡支店     | (092) (411) 9201 |
| 埼玉支店     | (048) (771) 3462 | 名古屋支店   | (052) (571) 6451 | 福岡営業所    | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所  | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所  | (052) (571) 6451 | 北九州営業所   | (093) (551) 3481 |
| 川越営業所    | (049) (222) 2512 | 一宮営業所   | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所    | (0948) (26) 3361 |
| 熊谷営業所    | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所   | (0942) (43) 2441 |
| 越谷営業所    | (0489) (76) 6155 | 知多営業所   | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所    | (0952) (30) 6603 |
| 前橋営業所    | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所   | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所    | (095) (882) 6112 |
| 高崎営業所    | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所   | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所   | (0956) (33) 4991 |
| 両毛営業所    | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所  | (0593) (51) 0727 | 熊本支店     | (096) (389) 4300 |
| 千葉支店     | (043) (231) 5521 | 津営業所    | (059) (232) 2446 | 熊本営業所    | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所    | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所   | (0596) (36) 3210 | 八代営業所    | (0965) (43) 1000 |
| 市川営業所    | (047) (328) 1554 | 京都支店    | (075) (621) 1135 | 大分営業所    | (097) (567) 3320 |
| 成田営業所    | (0478) (73) 8101 | 京都営業所   | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所    | (0985) (26) 1236 |
| 木更津営業所   | (0438) (23) 2908 | 福知山営業所  | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所   | (099) (267) 5234 |
| 柏営業所     | (04) (7175) 0411 | 大津営業所   | (077) (545) 5594 | 沖縄営業所    | 大阪支店の欄をご覧ください。   |
| 東京支店     | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所   | (0749) (22) 6184 |          |                  |
| 東京営業所    | (03) (3816) 1141 | 大阪支店    | (06) (6351) 8771 |          |                  |
| 中野営業所    | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所   | (06) (6351) 8771 |          |                  |

882079A1

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)